

5 - 9 京都／名古屋・三ヶ日・静岡・掛川・御前崎間の精密重力結合 (4)  
Precise Gravimetric Connections Performed among Kyoto/Nagoya, Mikkabi, Shizuoka,  
Kakegawa and Omaezaki (4)

京都大学 理学部  
名古屋大学 理学部  
Faculty of Science, Kyoto University  
School of Science, Nagoya University

京都大学理学部地球物理学教室の重力基準点および名古屋大学理学部地球科学教室の重力基準点と静岡県内の5点（三ヶ日 BM 基 38, 気象庁三ヶ日地殻歪観測室, 静岡地方气象台重力点, 掛川 BM140 - 1 および御前崎測候所重力点）との精密重力結合を, 1981年6月に開始し, 現在にいたるまでほぼ4ヵ月ごとに計11回の測定を実施している。測定には, ラコスト重力計 G - 196, G - 534, G - 605 (以上, 京都大学所属) および G - 484 (名古屋大学所属) を用いている。

京都大学理学部地球物理学教室重力基準点および名古屋大学理学部地球科学教室重力基準点の重力値をともに不変とし, 各重力計によって得られたこれらの基準点と各測定点間の重力差を示したのが, 第1図である。ただし, ラコスト重力計 G - 484 については, 名古屋大学と京都大学の両重力基準点間の重力差を 24.803mgal とし, この値を名古屋大学理学部地球科学教室重力基準点と各測定点間の重力差に加えてある。

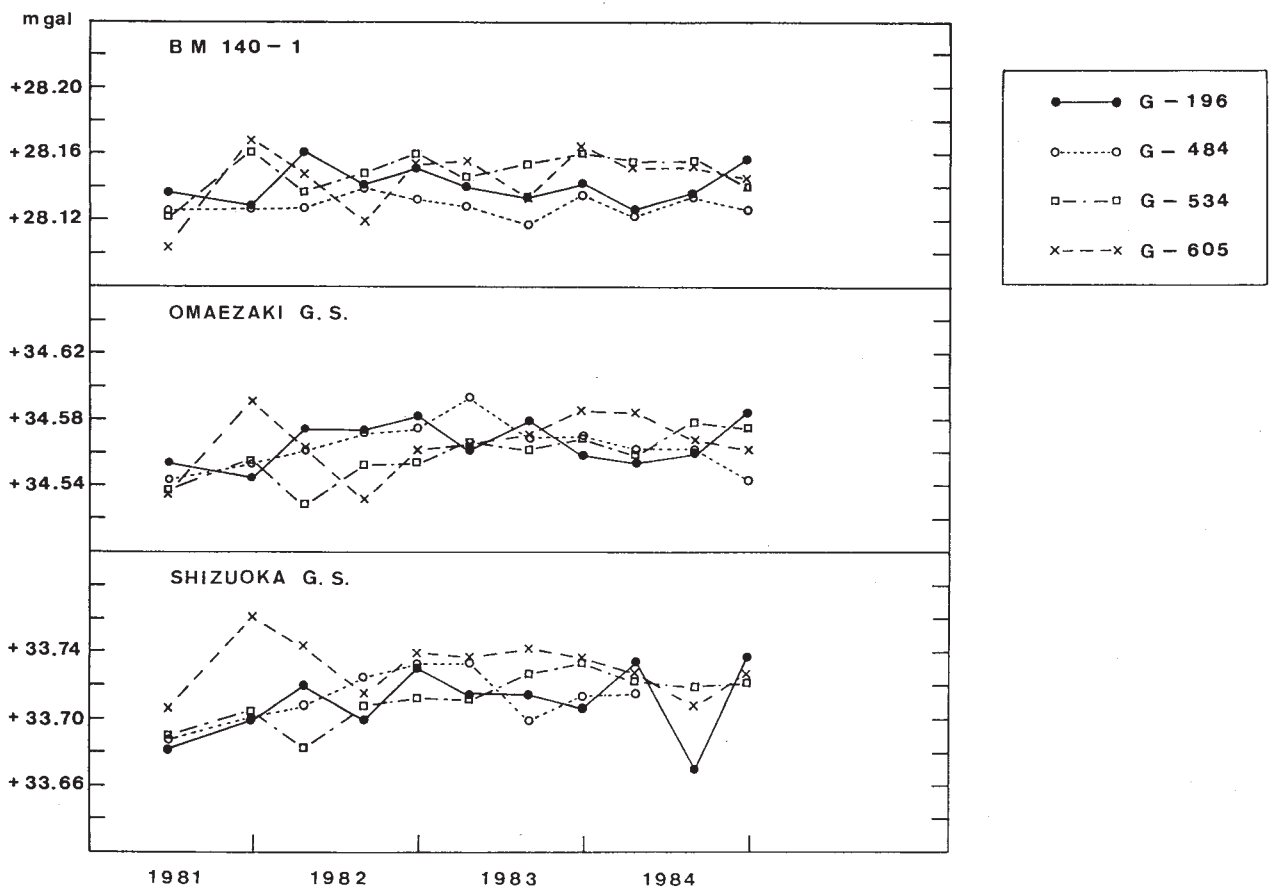
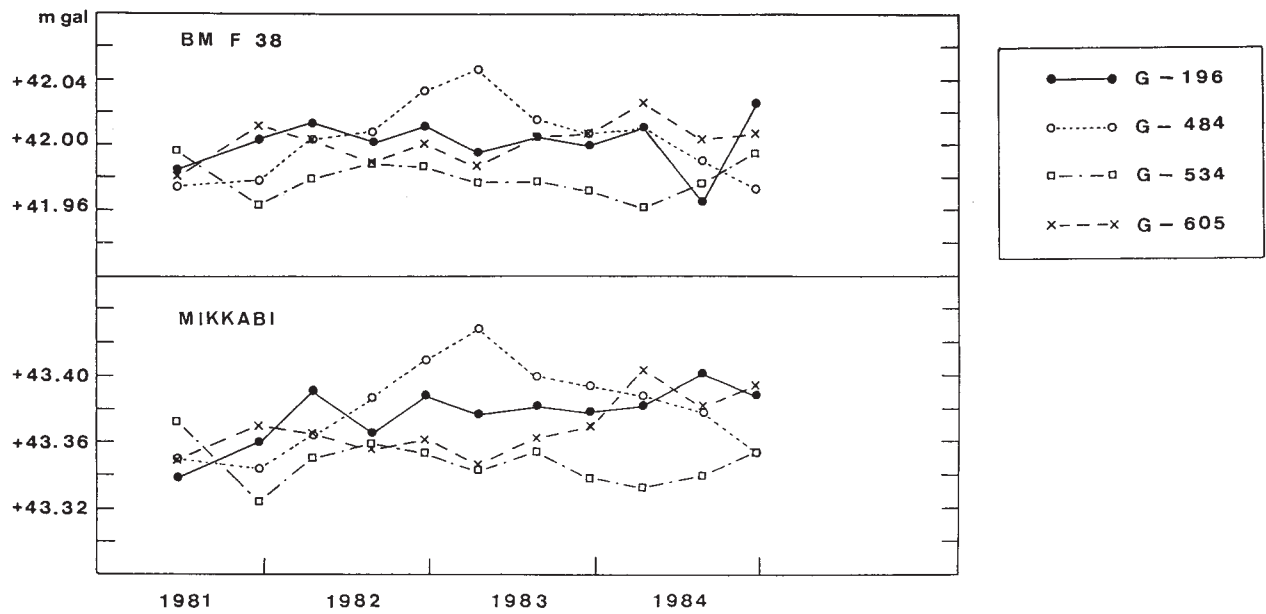
第2図は, 掛川 BM140 - 1 の重力値が不変であるとしたときの御前崎測候所重力点の重力値の見かけの経年変化を示している。

これらの図から, 1983年4月を中心にして, ラコスト重力計 G - 484 による測定結果が, 掛川 BM140 - 1 を除いたすべての重力測定点において大きくなっていることがわかるが, これは, 1983年4月を中心にして犬山に対して名古屋大学重力基準点の重力値が減少している<sup>1)</sup> ことと調和的である。その他の重力測定点においては, この間, とくに顕著な重力変化はなかったと考えられる。

この重力結合は, 今後とも定期的に行なわれる予定である。

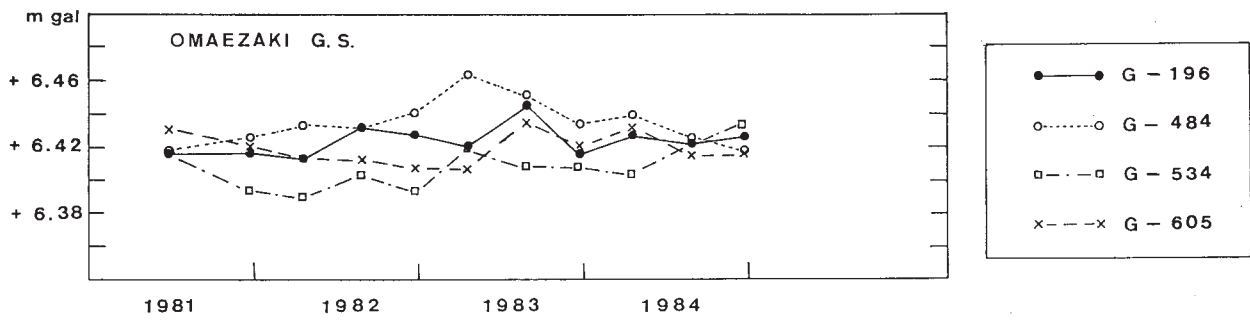
参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部: 東海地方における重力変化の観測 (1), 連絡会報, **31** (1984), 342 - 345.



第1図 各測定点で得られた見かけの重力変化 (基準点: 京都および名古屋)

Fig. 1 Apparent gravity changes measured at Mikkabi, Shizuoka, Kakegawa and Omaezaki. (Referred to Kyoto and Nagoya)



第2図 掛川・御前崎間の見かけの重力変化 (基準点: 掛川 BM140 - 1)

Fig. 2 Apparent gravity changes measured between Kakegawa and Omaezaki. (Referred to Kakegawa BM140-1)